



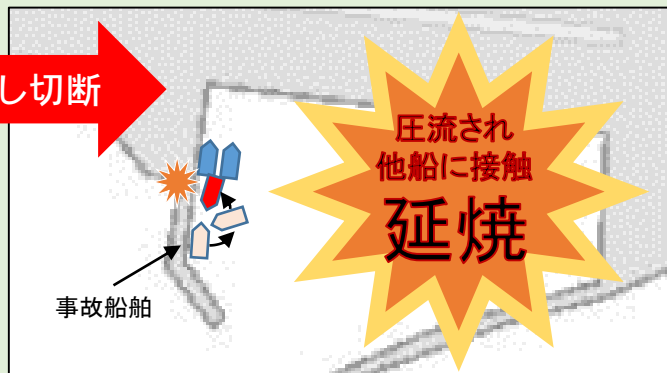
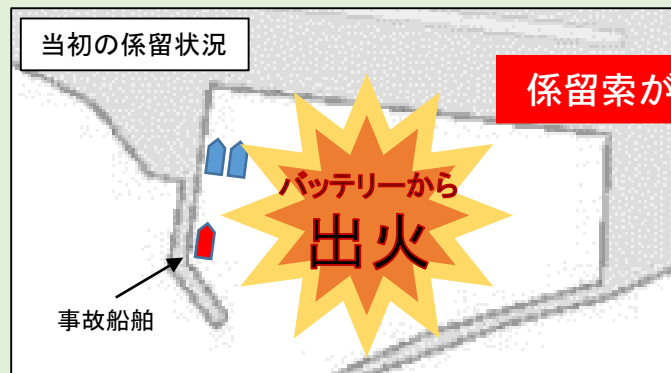
## 火災から漁船を守るために

写真①は今年6月、  
取り付けていた  
**船外機の「バッテリー」**  
から出火した和船型漁船  
です。

出火した漁船は炎により船尾  
の係留策が焼き切れ、  
近くに係留していた漁船  
2隻を延焼させました。



- ①出火元の船舶
- ②,③延焼による被害船舶



## 大切な船舶を失わないために ➡ 裏へ

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1  
(代表) 022-363-0111  
(直通) 022-365-9609



漁船かわら版

検索

# 事故原因と対策



調査したところ、船外機用バッテリーの短絡防止のため、ターミナルのマイナス部分を外してから布を被せて絶縁対策をしていたところ、マイナス部分が動揺等で振れ回りプラス側に接触（短絡）して火花を起こし、被せていた布に火がつく等して、火災が発生したものと考えられます。

**接触を防ぐため、ケーブルを固定する等の**必要があります。

## 電線類等の過熱

大量の電力消費による電線の発熱、電線の短絡（ショート）や半断線・端子の緩みでスパークすることにより、**発火**する恐れがあります。

配線の点検、清掃を心がけ、古くなっているようであれば、業者さんに相談しましょう。



乱雑な配線状況



電装機器の腐食

## 燃料高圧管等の破損・排気ガス漏れ

燃料高圧管等に破損が生じると、燃料油が噴出、高温の排気管やエンジンに接触することで**発火**する恐れがあります。

高圧管のニップルや排気管のフランジ部のボルト・ナットの緩みの点検、適正なトルクでの締付け、排気管振れ止め対策などを確実に実施しましょう。



排気ガス漏れによるコゲ跡



高圧管のニップルの緩み

※写真提供『（一社）日本船用機関整備協会』

電気機器や機関の点検を定期的に行い、必要に応じて**交換**しましょう。



海での  
事件・事故は  
**118番に通報！**

## R1 東北地方 漁船事故発生状況（8月末現在）

青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
11隻(1隻)	6隻(3隻)	13隻(1隻)	0隻(0隻)	0隻(0隻)	4隻(1隻)

( ) 内は8月の隻数

**死者数：1人**